
アップル一号

ハト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アップル一号

【Nコード】

N7750K

【作者名】

ハト

【あらすじ】

タイムマシン、アップル一号の完成は世間を大いに沸かせたが、しかし大昔への初航海で当時の人類を連れ帰ったときの反響に比べれば、それはずっと小さかった。そして、科学者の不眠不休の努力によってその古代人と会話ができるようになった時、世間の人々はすでに完成時の興奮を忘れてしまっていた。

タイムマシン、アップル一号の完成は世間を大いに沸かせたが、しかし大昔への初航海で当時の人類を連れ帰ったときの反響に比べれば、それはずっと小さかった。そして、科学者の不眠不休の努力によってその古代人と会話ができるようになった時、世間の人々はすでに完成時の興奮を忘れてしまっていた。

古代人は白の蛇と名乗り、科学者や政府要人、果てはタレントや一般人に至るまでに自分たちの時代の生活を語った。マンモスとの死闘、サーベルタイガーの襲来、突然起こる天変地異。それらはホログラムテレビにしか娯楽を見いだせない現代の人々の手に、興奮の汗を滲ませた。また現代文明の機器に対する彼の仕草は、どれも笑いを誘った。彼は、現代人に古代を伝える教師であり、語り部であり、コメディアンであった。

子ども達の間で、彼はヒーローであった。女性の間では、野性味あふれるアイドルであった。そして、男性の間でも彼は羨望の眼差しを受けた。詰まるところ、彼は老若男女すべてに受け入れられた。そんな彼が、自分の一族を率いて現代で暮らしたいと言い出したとき、それを無下にできる者は居なかった。しかし、それを実現させるのは困難であった。何しろ彼一人ならまだしも、数十人もの古代人が現代にやってくれば、時代の人口バランスが崩れてしまう。時間科学とはそう言うモノなのだ。結局、若い自然主義者のグループが、彼らの変わりに移住することを熱心に希望したため、あっさりとは話は決まった。移住グループは数ヶ月の間、白の蛇から古代で生活する知恵を学んだ後、旅立っていった。

古代の森で、近くの村の住民が話し合っている。

「どうだ。食べ物は見つかったか」

「いいや駄目だ。獣すら見かけない。今年も何人かは飢え死にする

だろう。やはり、この前逃したマンモスは惜しかった」

「まったく、酷いモノだ。どこかに飢えを感じずに生活できる、そんな場所はないだろうか」

「私の祖父が言うには、もともと私たちはその様な場所に住んでいたらしい」

「天国の話か。それは私も聞いた。色とりどりの果実、何種類もの獣の肉、それらが蓄えられた寒さも暑さも感じない住居……しかし、そんな場所が実際にあるのだろうか」

「私も疑わしく思う。しかし、私の祖父がその祖父に聞いたという話によれば、村の祖先たちは白の蛇に導かれて天国からこの世界にやってきたと言うことだ」

「ふむ。しかし天国が実際にあるとして。なぜその祖先たちは、このような過酷な世界へとやってくる気になったのだろうか」

「判らぬ。しかし、もしかすると私たちの祖先は、天国で何か大罪を犯したのかも知れないな。そして、その罰としてこの世界に墮とされたのでは……」

(後書き)

ご意見ご感想等よろしく願います

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7750k/>

アップル一号

2010年10月10日05時31分発行